

SUN2000L-4.125KTL-JP

SUN2000L-4.95KTL-JP

SUN2000-4.95KTL-JPL0

低圧向け単相PCS設定手順書

発行 V1.1

日付 2020-05-25



Copyright © Huawei Technologies Japan K.K. 2018. All rights reserved.

文書による華為の事前承諾なしに、本書のいかなる部分も、いかなる形式またはいかなる手段によっても複製または転載は許可されません。

商標および許諾



およびその他のファーウェイ（華為）の商標は華為技術有限公司の商標です。

このドキュメントに記載されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

注意

購入した製品、サービスおよび機能は華為とお客様の間の契約によって規定されます。本文書に記載されている製品、サービスおよび機能の全体または一部は、購入範囲または使用範囲に含まれない場合があります。契約で規定しない場合、本文書内の記述、情報、推奨事項はすべて「無保証(AS IS)」で提供されており、明示的または暗黙的ないかなる保証も約束も行いません。

この文書の記載内容は、予告なく変更されることがあります。この文書作成にあたっては内容の正確に最大限の注意を払っておりますが、この文書内のいかなる説明、情報、推奨事項も、明示的または暗黙的に何らかの保証を行うものではありません。

ファーウェイ

華為技術日本株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-5-1
大手町ファーストスクエアウエストタワー12F

<http://solar.huawei.com/jp>

Huawei Technologies Japan K.K.

12th Floor, West Tower, Otemachi First Square
1-5-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0004
Japan

本手順書について

平素より HUAWEI 製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

本書ではSmartLogger1000Aを使用して、単相PCSを設定するための手順をご案内します。

この資料ではPCSのソフトウェアバージョンは

SUN2000L-4.125KTL-JP,SUN2000L-4.95KTL-JPでは“V100R001C12SPC108”を

SUN2000-4.95KTL-JPL0では“V100R001C20SPC100”を採用しております。

監視装置は“SmartLogger1000A”を採用し、ソフトウェアバージョンは“V100R002C00SPC030”を採用しております。

- SUN2000L-4.125KTL-JP
SUN2000L-4.95KTL-JP
SUN2000-4.95KTL-JPL0
上記の商品名は本手順書において“PCS”と呼びます。
- SmartLogger1000A
上記の商品名は本手順書において“SmartLogger”と呼びます。

本手順書の操作実施のPCのOSは Windows10にて作成されております。

詳細な手順及び設定方法については、各機種ของผู้ーマニュアルをご参考下さい。

変更履歴

文書のバージョンに対する変更は累積的に加えられます。最新版には、それまでのバージョンに加えられたすべての改訂が含まれます。

Draft	初回	2020-04-16
V1.0	正式版	2020-05-12
V1.1	Huawei ロゴ変更	2020-05-25

目 次

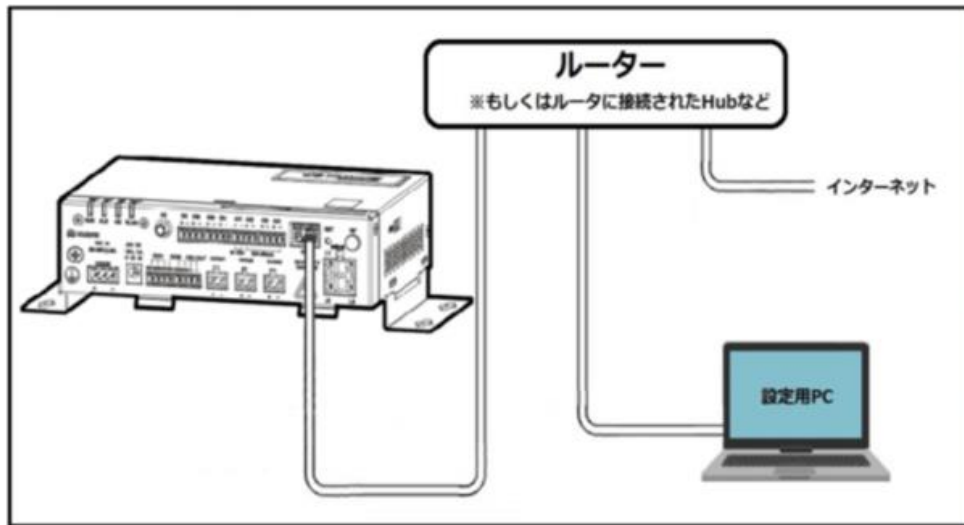
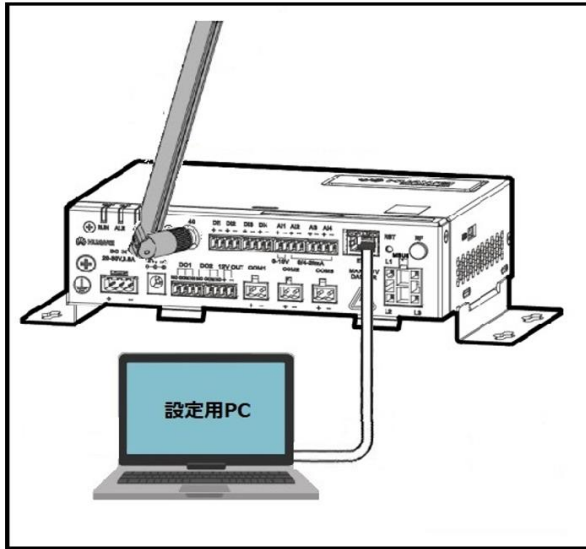
内容

本手順書について.....	ii
目 次.....	iii
1 SmartLogger への WebUI アクセス.....	4
2 WebUI より PCS 認識.....	9
3 上級ユーザー設定.....	12
4 特別ユーザー設定.....	13
5 PCS 状態確認.....	19

1 SmartLogger への WebUI アクセス


1. 作業 PC と SmartLogger の接続について

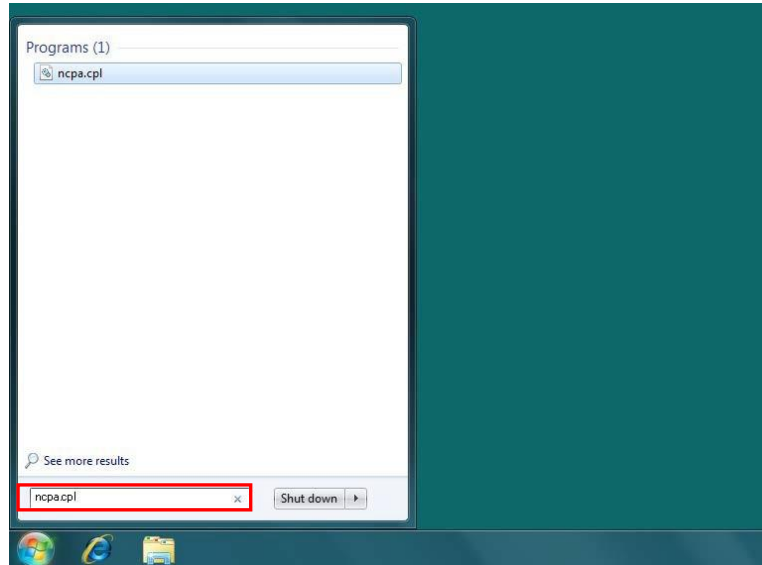
- ① 下図を参考にし、SmartLogger と PC を有線 LAN ケーブルにて接続します
LANケーブルはストレートケーブルをご採用下さい。



2. 作業用 PC への IP アドレス固定

- ① スタートを押し、検索枠内部に「ncpa.cpl」と入力し ENTER キーを押します。

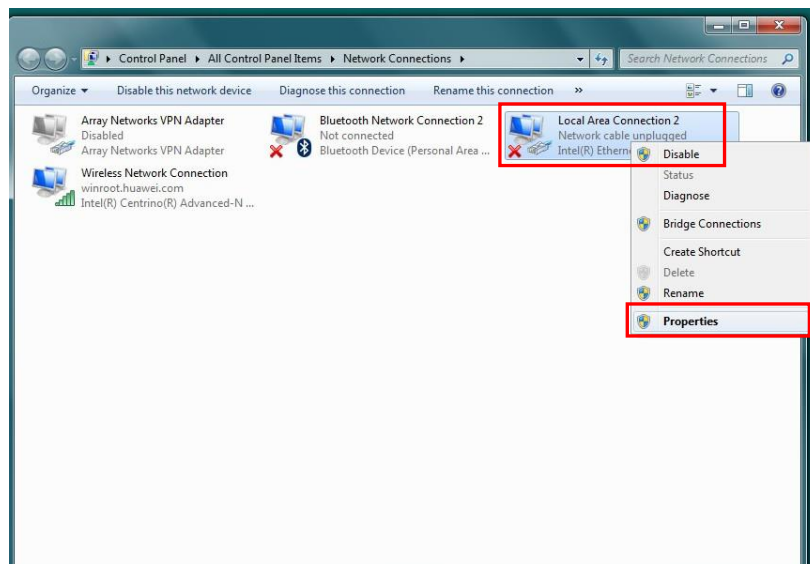
※Windows8 以降は「」をクリックし、検索枠内部に「ncpa.cpl」と入力し ENTER キーを押します。



- ② ネットワークアダプタの設定が表示されます。

使用する有線ネットワークアダプタ名を右クリックし、プロパティを開きます。

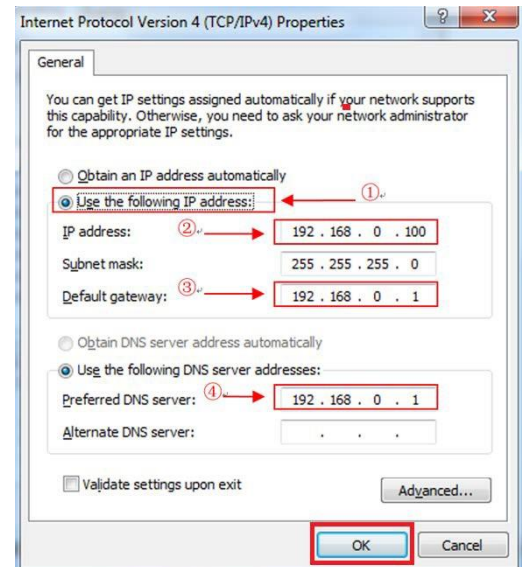
※Windows7 以前は「ローカルエリア接続」、Windows8 以降は「イーサネット」と表記されます。



③ IP アドレスを設定します。

- ① “次のIP アドレスを使う”にチェック
- ② 第 3 オクテットまではルーターと同じアドレスを入力します。
第 4 オクテットはルーター及びルーター下の機器と重複しない値を入力します。
- ③ ルーターの IP アドレスを入力します
- ④ ③と同じ値を入力します。

最後に OK を選択すると先ほどのネットワークアダプタのプロパティ画面が出ますので、OK を選択しIP アドレスの設定は終了です。



■ Youtubeにて手順を公開しております。参照ください。
■ <https://youtu.be/Juir41QELBE>



3. SmartLoggerWebUI のアクセス

PC よりインターネットブラウザを起動します。

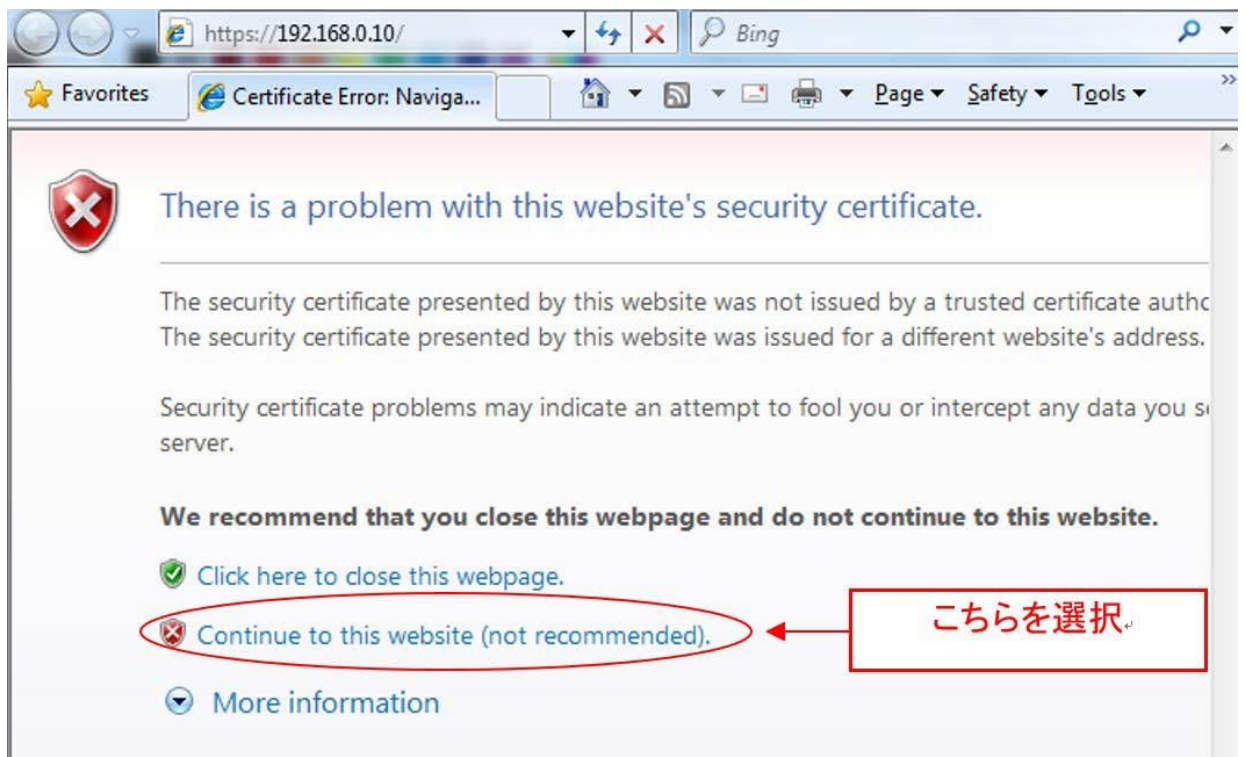
※推奨するソフトは InternetExplorer11 以降、GoogleChorme

- ① ブラウザのアドレス入力欄に SmartLogger の IP を入力します。

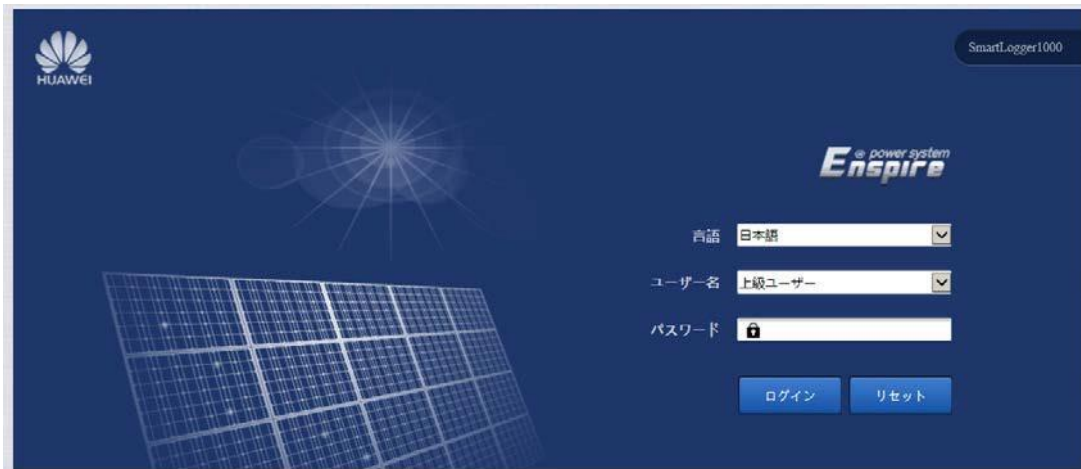
例： <https://192.168.0.10/>

- ② アクセスすると、以下画像のセキュリティ勧告が表示されるので、接続を続行してください。

繋がらない場合はSmartLoggerとPC間のケーブル、IPアドレスの確認、
PCのネットワークデバイスを SmartLogger で使用しているデバイス以外を無効にし
てください。(ワイヤレス LAN などのデバイスの無効化)



- ③ SmartLogger WebUI のログインページが表示されれば接続成功です。



2 WebUI よりPCS認識

1. SmartLogger WebUIへ「上級ユーザー」にてログインます。

①「ユーザー名」を上級ユーザー、「パスワード」に“Changeme”を入力し、ログインします。

※パスワードを変更されている場合は、変更後のパスワードを入力します。

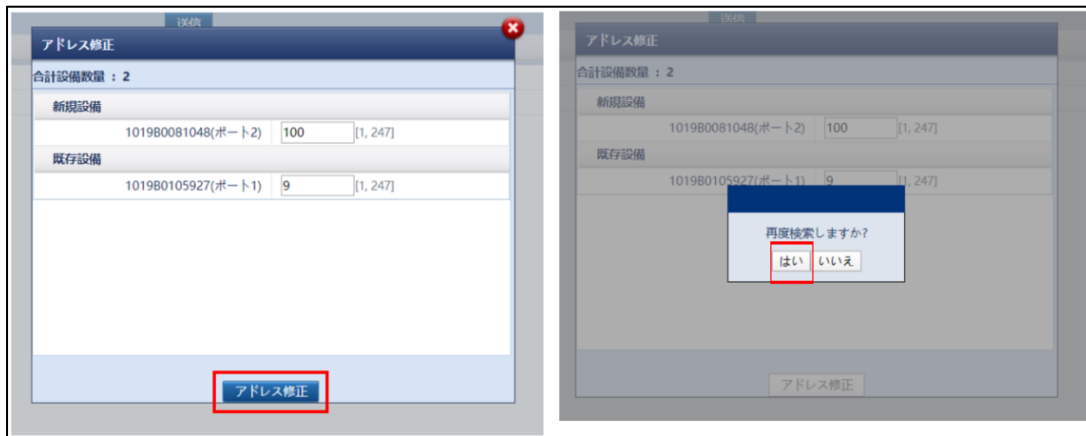
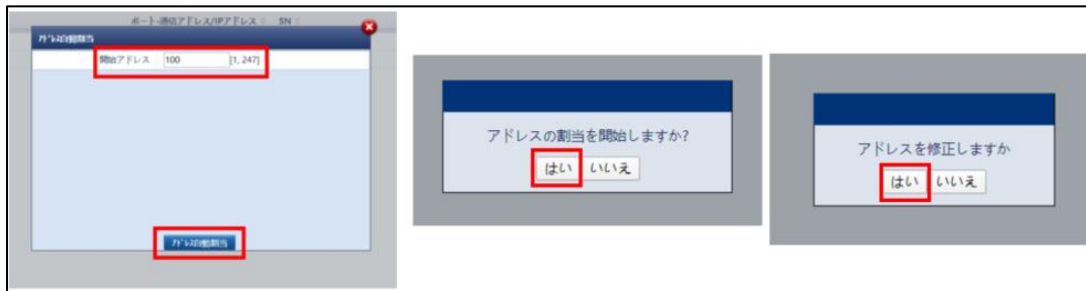
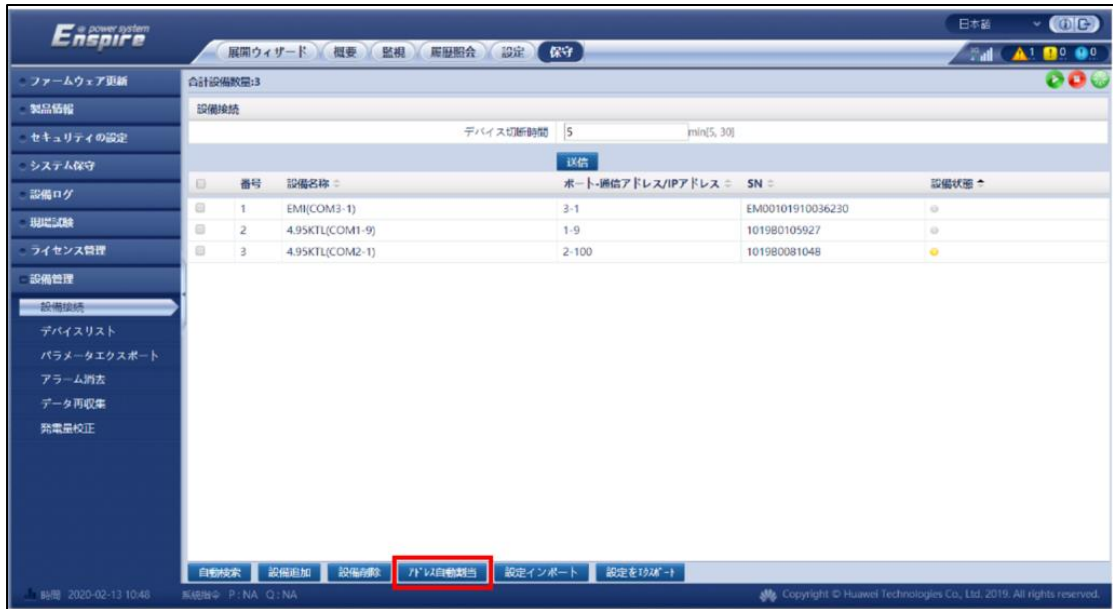


②「保守」を選び、左欄の「設備接続」を選びます。

PCSをチェックし、「自動検索」を選択します。



- ③見つからない場合、「アドレス自動割当」を選択します。
 “開始アドレス”は見分けが付きやすいよう”100”とします。



※④以下の作業はシリアルナンバーとPCSの通信パラメータを結びつけて管理する場合のみ行います。

④「デバイスリスト」に移動します。

対象のPCSの通信アドレスを、シリアルナンバーを元に修正します。
変更後「デバイス情報の修正」を選択します。



⑤「設備接続」に移動し「自動検索」を実行します。

修正したPCSの通信パラメータが変更されているか確認します。

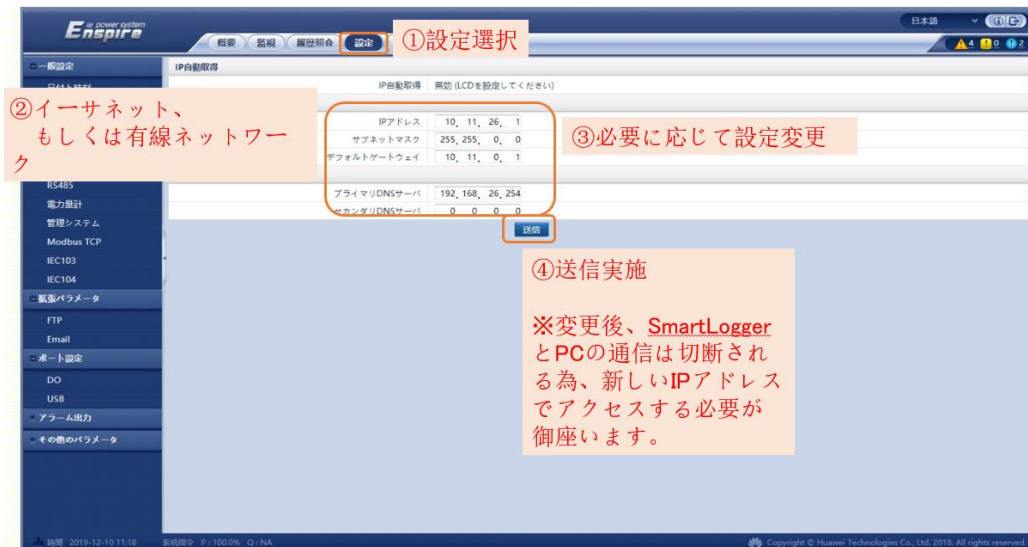


3 上級ユーザー設定

- ①「設定」に移動し「日付と時刻」を選択します。
日付と時刻を環境に合わせ設定します。



- ②「イーサネット」もしくは「有線ネットワーク」を選択します。
アドレスを環境に合わせ設定します。



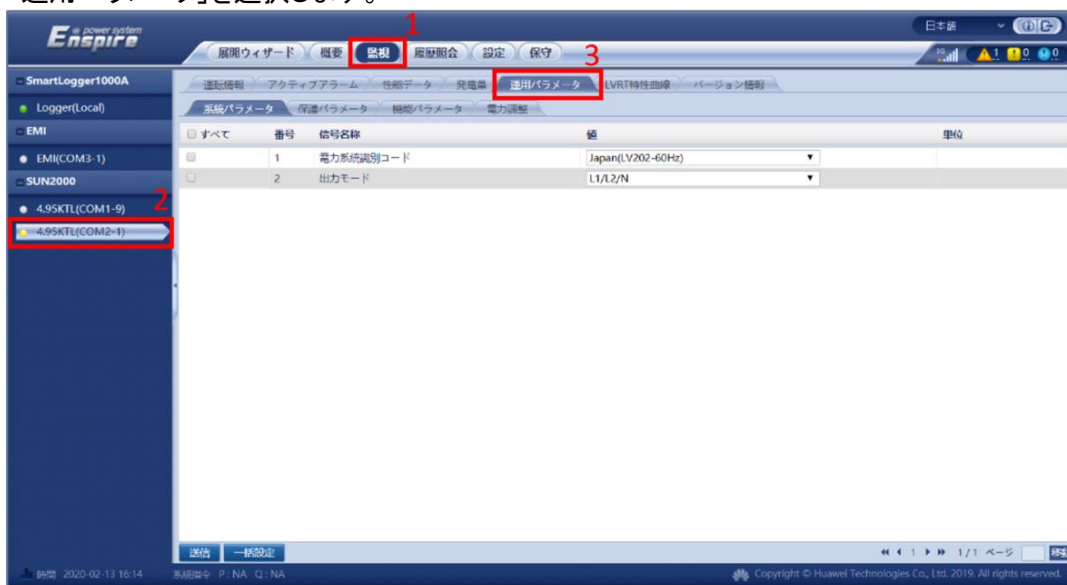
4 特別ユーザー設定

1. SmartLogger WebUIへ「特別ユーザー」にてログインします。

- ① 「ユーザー名」を特別ユーザー、「パスワード」に“Changeme”を入力し、ログインします。
※パスワードを変更されている場合は、変更後のパスワードを入力します。



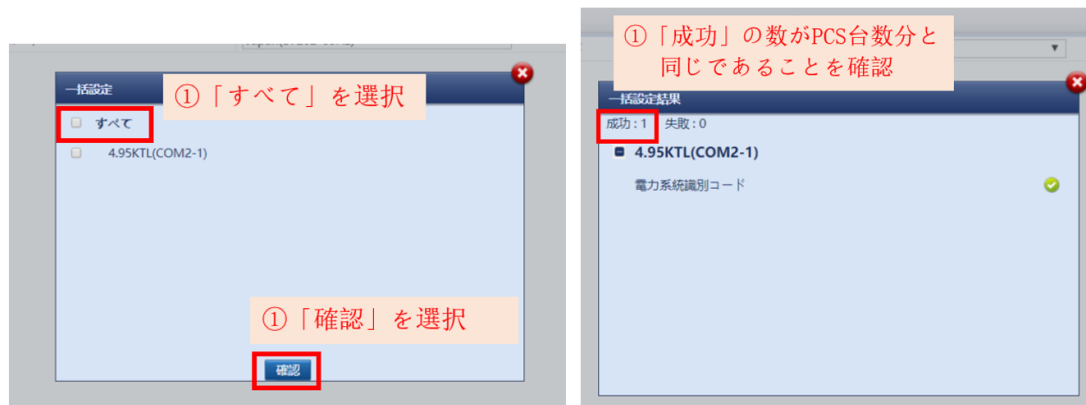
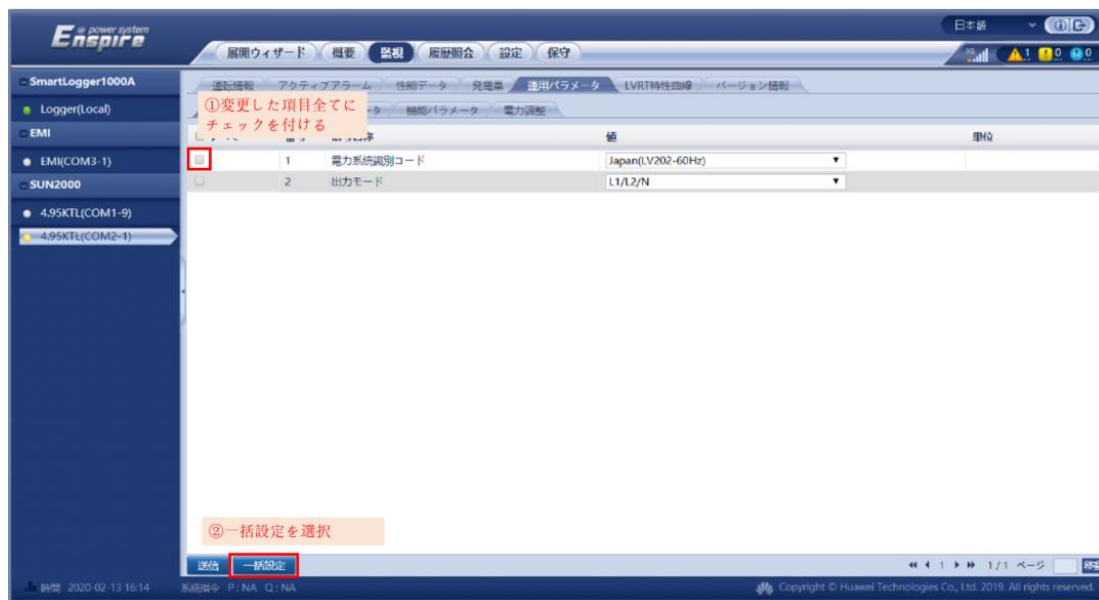
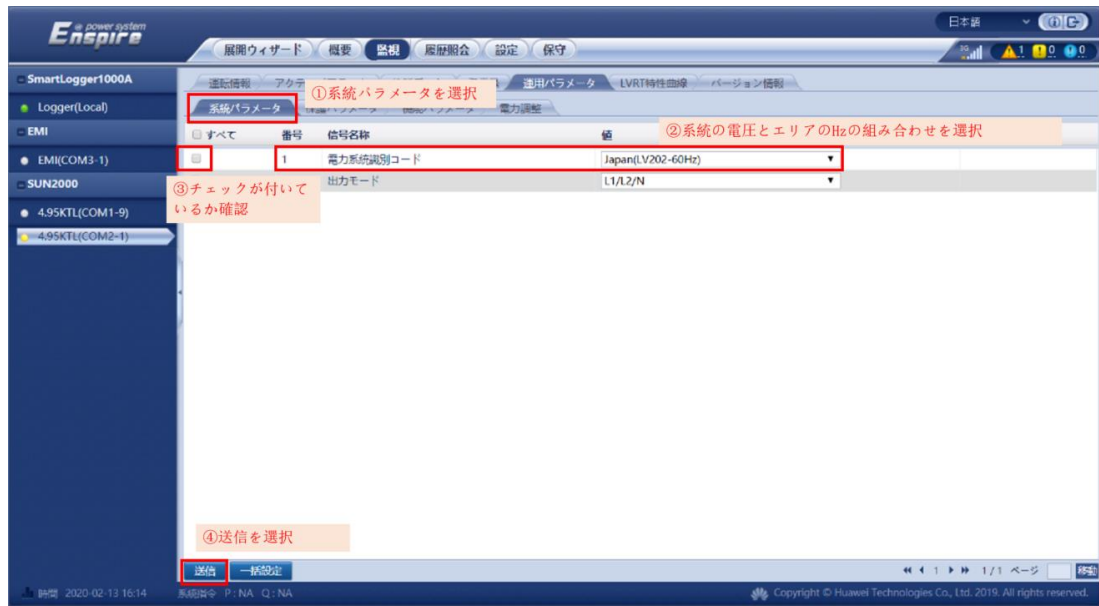
- ② 「監視」を選択し、左側のPCSのうち一台を選択します。
「運用パラメータ」を選択します。



③ 「系統パラメータ」を選択します。

下図内の項目の設定を行います。

設定後、一度「送信」を選択し、変更した項目に再度チェックを入れて「一括設定」します。



④ 「保護パラメータ」を選択します。

下図内の項目の設定を行います。

設定後、一度「送信」を選択し、変更した項目に再度チェックを入れて「一括設定」します。

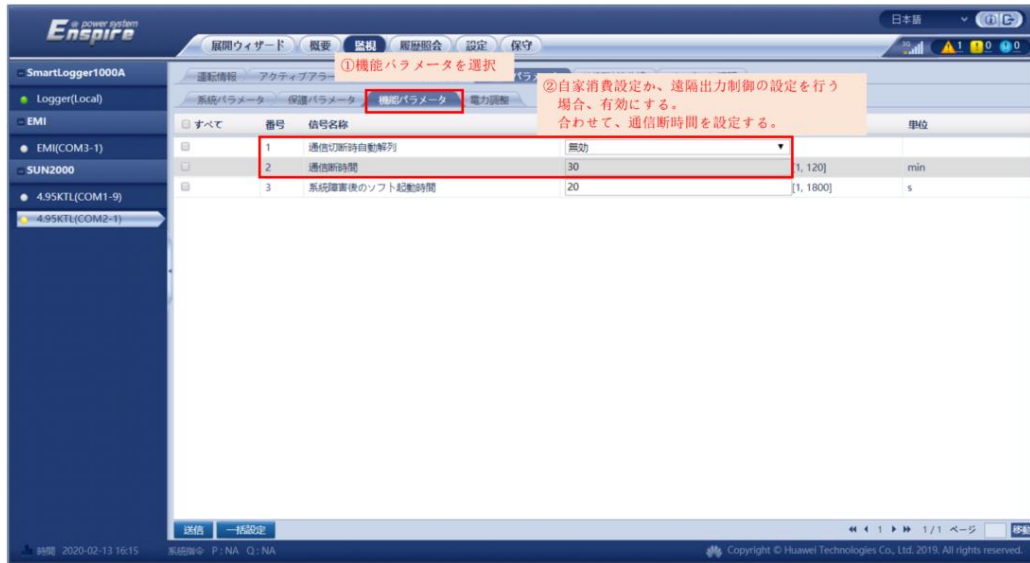


⑤ ※この項目は自家消費設定か遠隔出力制御設定を行った場合のみ設定を行います。

「機能パラメータ」を選択します。

下図内の項目の設定を行います。

設定後、一度「送信」を選択し、変更した項目に再度チェックを入れて「一括設定」します。



⑥ 「電力調整」を選択します。

下図内の項目の設定を行います。

設定後、一度「送信」を選択し、変更した項目に再度チェックを入れて「一括設定」します。



⑦ ※この項目は外部の監視メーカー様をご利用になられる場合のみ設定します。

「設定」を選択します。

左側項目のうち、「ModbusTCP」を選択します。



⑧ 左側項目のうち、「無効電力制御」を選択します。ただし、力率が100%の場合は設定しません。

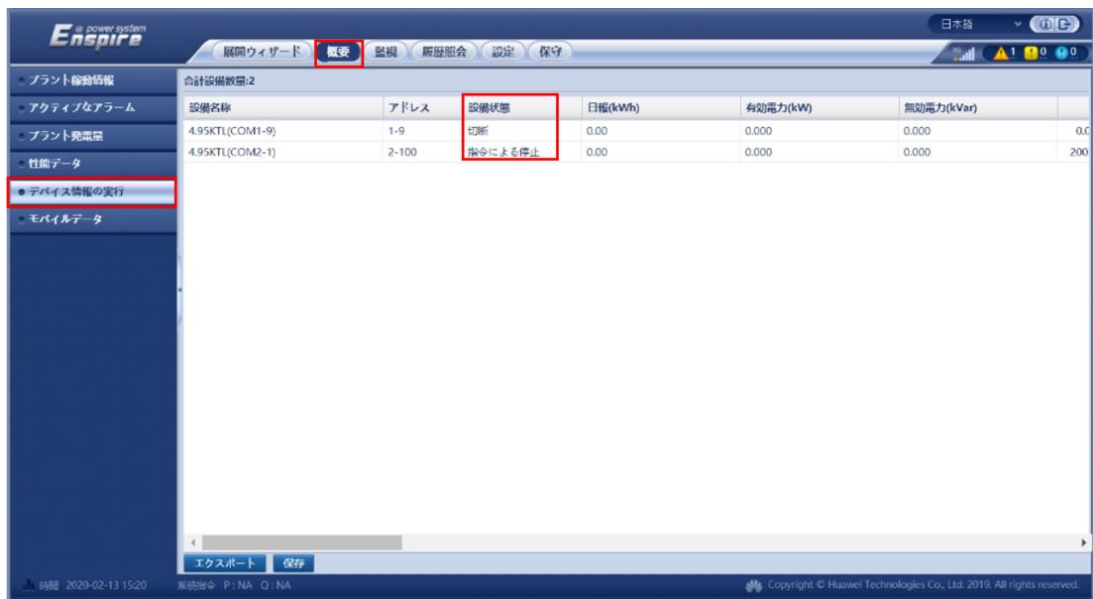


5 PCS状態確認

①「概要」を選択します。

「デバイス情報の実行」を選択します。

設備状態がPCSの現在状態になります。



②「概要」を選択します。

「性能データ」を選択します。

曲線を選び、Y1Y2から取得したい対象のデータを選択し照会を押します。



以上